

## 献辞

著者	松尾 聿正
雑誌名	関西大学商學論集
巻	38
号	3-4
発行年	1993-10-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10112/00019777">http://hdl.handle.net/10112/00019777</a>

## 献 辞

東海林滋先生は、平成6年1月8日に古希の寿を迎えられ、同年3月末日をもって関西大学を定年退職されることになりました。

先生は、昭和44年（1969年）4月に神戸商船大学から関西大学に教授として就任されて以来、現在に至るまで20有余年にわたり、研究・教育はもとより、大学行政にも心血を傾注されました。研究面ではその主力を海上交通事業の諸問題におかれ、日本交通学会賞を受賞された『海運論』としてその成果を結実され、また国際交通論の講義をつうじてその学殖を教育面に傾けられました。その間、商学部長、大学院商学研究科長、学生部長代理をはじめ、数々の役職を歴任されることにより、大学行政に尽瘁されました。そのうえ、本学着任以前には、甲種船長として、運輸省海技専門学院（現海技大 学校）において後進の育成に尽くされました。

学外においては、日本海運経済学会副会長、同学会常任理事として、斯学の発展に多大の寄与をなしてこられ、また財団法人海事産業研究所調査委員会幹事として、海運事業の発展に絶大なる貢献を果たしてこられましたことは、多くの人の知るところであります。先生の功業はまことに大なるものがあると申さなければなりません。

先生は人格円満で、大変温厚なお人柄のうえに、物事に対する謙虚さと研究・教育に対する真摯な姿勢は万人の敬慕するところです。先生のご退職はあたかも一本の柱を欠いたようで、まことに淋しいかぎりです。しかし、われわれは先生が本学に残された大きな足跡を踏みしめて進んで参ります。

先生が今後ともますます健勝で南山の寿を重ねられ、後進の育成にご活躍下さいますことを心からお祈り申し上げます。われわれは先生のご足跡を回顧し、感謝の意を表明すべくここに『関西大学商学論集』の特別号として祝賀論文集を刊行し、本学商学部発展の一里塚たらしめることにいたしました。執筆者一同に代わり記念号献呈の辞といたします。

平成5年10月22日

商学部長 松尾 隼 正